

[発行]社会福祉法人名古屋市天白区社会福祉協議会
〒468-0015/名古屋市天白区原一丁目301 原ターミナルビル3階
TEL809-5550 FAX809-5551 E-mail:tenpakuVC@nagoya-shakyo.or.jp

天白区社協

検索

情報紙「ぱわわ」へのご意見、ご感想も
はがき・FAX・メールにて受け付けています



視覚障がいその他の理由で活字のままでも読むことが困難な人のために、
営利を目的とする場合を除き「録音図書」「点字図書」「拡大図書」等の
製作をすることを認めます。

クローズアップ!

“住みつづけたい天白”をめざし「てんてんプラン2019」推進中!

※「てんてんプラン2019」(第4次天白区地域福祉活動計画)は、天白区にお住まいの方々や関係機関の職員の方々と共に策定した、地域福祉を推進していくための5年間(令和元年度～令和5年度)の行動計画です。

※現在、計画策定に参加して下さった委員のみなさんを母体に組織された2つの推進部会(つばやき・キャッチ部会/ともい【共育】部会)で取り組みを進めています。

「福祉環境づくり」をテーマに4つの項目に取り組んでいる「ともい部会」の活動をご紹介します。

1. ボランティア活動を始めるきっかけづくり

- 「みんなの元気フェスタ in てんぱく 2019」にて、ボランティア活動紹介パネルの展示と活動相談を行う「出張ボランティア展」を実施しました。
- 生涯学習センターで活動されているグループが一堂に会する機会に訪問し、みなさんの日頃の取り組みを活かしたボランティア活動へのお誘いをさせていただきました。

ボランティア活動を実践されている、ともい部会委員の方々が、来場者のみなさんに様々な活動を紹介



社協へのボランティア登録をご案内



2. ボランティア活動の情報収集と発信

「募集様式」や「ボランティアグループ情報」は、天白区社協のホームページからもダウンロード可能

●募集されているボランティア活動の内容が集約できる様式を作成。寄せられた情報を天白区社協の掲示板で公表しています。

●「天白区 ボランティアグループ情報」冊子を作成。天白区社協の他、ともい部会委員の所属先(生涯学習センター、西部いきいき支援センター、福祉会館、児童館)でもご覧いただけます。



障がい児・者の事業所で行事のお手伝いや日中活動(音楽療法や体操など)の講師、高齢者のデイサービスでレクリエーション(歌や踊り、楽器演奏など)を実施して下さる方などを募集中!

3. 多様な人々を理解し思いやる意識づくり

- 自分と立場の異なる人のことを理解したり、相手のことを思いやる行動について考えたりできる「気づき」を通して、共に学びあい認めあい、共に育つ=共育(ともい)の心の広がりをめざし、多様な人々が出会い、楽しみながら交流できる機会づくりを企画し、実施に向けて検討を重ねています。

ボッチャを知ろう!体験してみよう!

天白区在住・在学・在勤の方にご参加いただける交流会を企画中!6月中旬から参加申込受付!

★実施予定日: 令和3年7月17日(土)

10:00~11:30

★問 合 先: 天白区社会福祉協議会



4. 誰もが行きたくなる店舗等の増加につながる支援

- 高齢者、障がい者、子ども連れの方などが、外出先の店舗等でどのようなことに困り、どのような配慮があれば安心して過ごすことができるのか、アンケート調査を実施しています。ご協力をお願いします!



ともい部会 近藤さんに聞く ボランティア活動の魅力

Q1 ボランティア活動を始めたきっかけは?

一番下の子が小学生になったとき、そろそろ子離れをして自分ができることを何か始められたらいいなと感じていたところ、「広報なごや」の音訳者養成講座の参加者募集の情報を知り、申し込んだのが始まりです。平成2年のことでした。学生時代に放送クラブに入っていたため、これなら自分にもできるかと思いました。4人の子を育てながら専業主婦をしていましたが、家庭の外に目を向け、違う世界に自分を置いてみることで社会での自分の存在価値に気づく機会になりました。

Q2 しだいに広がり、現在も続けるボランティア活動について教えてください

音訳者養成講座の修了生で「天白ハッピーボイス」をつくり、視覚に障がいのある方などに声で情報を届けるために、「広報なごや」天白区版をカセットテープ(現在はCD)に録音する活動を始めました。活動を続けていく中で、視覚に障がいのある方とお会いする機会も出てきましたので、ガイドの仕方を学ぶために参加したのがガイドボランティア養成講座です。講座修了生で「天白わかば」をつくり、視覚に障がいのある方の外出時のガイドや、小・中・高校等の福祉体験学習(アイマスク体験)の講師をしています。その後、視覚に障がいのある方と一緒に映画を楽しむために音声案内を行うシーン・ボイスガイドの養成講座にも参加し、発声や発音、台本づくりなどを学び、講座修了生で「ボイス・ケイン天白」をつくり、シーン・ボイスガイド付き上映会を実施しています。その他、「ふれ愛ネット天白」(裏面参照)、「地域福祉活動計画」の策定や推進にも参加しています。

天白ハッピーボイス
代表 近藤由利さん



Q3 ボランティア活動を長く続けてこれた原動力は?

ボランティア活動が自分の生きがいになっているからだと思います。プライベートでちょっと大変なことがあっても、スケジュールがあるとそのことだけに目を向けてもらえません。どのように上手に時間のやり繰りをするかを考えます。ボランティア活動が生活にメリハリを与えてくれているように感じています。それから、ご近所の方や学生時代の友人とは違う付き合いのできる仲間がいる嬉しさもあります。一緒に活動する仲間たちの気持ちを大切に、程よい距離感を持つようにしています。

Q4 ボランティアグループの中心的存在として、心がけていることは?

特定の方に負担が集中しないように役割分担をすることで。また、活動を続けることを無理強いしないことです。ご本人からやめる申し出があれば無理に引きとめません。ただし、続けたいけど事情があって今は活動できないという方には休会していただいて、その間も定例会の記録を送るなどしていつでも戻ってこれるような関係づくりを心がけています。

Q5 たくさんの方に、ボランティア活動の楽しさを感じていただくには?

ボランティア活動に関われるチャンスを増やすお手伝いができれば、「天白ハッピーボイス」や「天白わかば」ではボランティア養成講座を開催しています。受講人数の少ない年もありますが、地道に定期的に講座を開催することで、誰かの活動に踏み出すチャンスとなったり、ひとりでもふたりでも新しい仲間を増やせたりすることにつながればという思いで取り組んでいます。一緒に活動する仲間には、「こんなことなら私にもできる!」「こんなことが楽しい!」と、その方なりのボランティアの喜びを見出してもらえるといいなと思っています。





認知症の人の世界を知る(その55) 『認知症の方の理解 ～地域の方が支える‘なじみの楽しみ’～』

Hさん(85歳男性)は、一人暮らしの認知症の方です。Hさんは、「カップ容器入りのポテト菓子をカップラーメンと思い込み、お湯を入れて召し上がる」など予想外の言動が続いていました。

最近、Hさんの午前中の不在が急に増えました。帰宅後にヘルパーが確認すると、「喫茶〇〇に行ってた」と繰り返すばかり。気になったヘルパーは、その喫茶〇〇を探しても見つかりませんでした。遠方の息子様に聞くと、亡き奥様と毎朝モーニングに通う日課があったことはわかりましたが、喫茶〇〇はご存知ありませんでした。ある日、見知らぬ店からヘルパーに「Hさんが財布を失くした」との連絡が。ヘルパーが急ぎ向かったその店は、喫茶〇〇ではなかったですが、財布は、Hさんの上着内にあり無事でした。いい機会なので店員さんに喫茶〇〇について聞いてみました。すると、喫茶〇〇は今の喫茶店の向かい

にあった店で、半年前に閉店していたことがわかりました。おそらく、Hさんは、ふと日課を思い出した朝に喫茶〇〇を目指したのでしょう。結果、Hさんは、閉店した喫茶〇〇を見つけられず、目的地近くの喫茶店に入っていたことが不在の真相でした。



店員さんは、物忘れの様子から、Hさんが認知症であることを理解されており、さりげなく支援されていました。店員さんには、今後とも協力いただき、来店の様子などを教えていただけるようになりました。見守っていただけの方が増えて息子様も安心が増えました。今の喫茶店は、Hさんにとって‘なじみのお店’ではないですが、地域の方による認知症の方へのあたたかい支援のおかげで、‘なじみの楽しみ(モーニング)’を続けられるお店になりました。(モカ)



『這えば立て、立てば歩めの親ゴコロ』

チビが世界1周しました！
「世界1周」というのは、けん玉の技の名前です。小皿→大皿→中皿→ケンに刺すという技。友達と競い合っているようで、毎日、マイけん玉をランドセルに入れて出かけていきます。

その調子で漢字の練習もしようね、と言いつつになり、グッと飲み込みました。求めすぎるのが私の悪いクセ。障がいのあるねえねにも、リハビリをやりすぎて皮膚が赤くなってしまったことも。

「元気に産まれてくれさえすればいい」。あの日のピュアな気持ちはどこへ行ったのでしょうか？

もっとできると願ってしまう…。親ってそんなものなのかもしれないね。

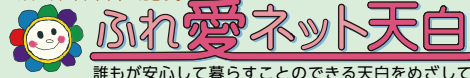
いつか本当に世界1周できるといいね！

さて、早いもので、ねえねは今度の4月で中学3年生、チビは中学1年生になります。まだまだ子育ては続きますが、サトコは今回でこのコラムを卒業いたします。6年間担当させていただいたご縁で、たくさんのお会いがありました。

「もしかしてサトコさん？」と、言い当てられたり、「サトコさんと話してみたい」という方を知人を通じて紹介されたり。嬉しいことばかりでした。書くことで自分自身も成長できた気がします。本当に「ぽわわ」に感謝です。これからも読者として楽しませていただきたいと思います。ありがとうございました！(サトコ)



マスコットキャラクターにこっち



<https://www.facebook.com/fureainettenpakukufukushikuminnotsudoi>
スマートフォンなどをお使いの方は、こちらのQRコードからFacebookページにアクセスしていただけます。

新型コロナウイルスについて学びました！

令和2年11月21日(土)、ふれ愛ネット天白定例会に先立って会員学習会を開催。今回は天白保健センター保健予防課の石田課長に講師をお願いし、会員から要望が多かった「新型コロナウイルス」について学びました。

新聞やテレビの報道で耳にしない日はない新型コロナウイルスの話題。特徴や感染経路、感染予防策についてうかがいました。「ウイルスは皮膚に付いただけでは体内に入らないが、手に付いたまま口や鼻などを触って粘膜から入ってくる」、「手洗いや手指消毒の重要性」、「無意識に鼻や目を触らないように気を付けなければいけない」と学びました。加えて、ふれ愛ネット天白のメンバーは障がい者施設も多いので、施設内・送迎車などで注意すべきポイントも教えていただきました。飲食をする座席の配置、お菓子は個包装のもの、送迎車に乗る人数を減らす、乗車メンバーの運転記録をとる等。まだまだ収束する気配のない新型コロナウイルスですが、できる感染予防策を着実にして乗り切りたいですね。

換気のために窓と扉の2方向を開けっぱなしで寒い中お話しくださった石田課長、ありがとうございました。



会員募集!

ふれ愛ネット天白とは 天白区内の障がい児者・子ども・高齢者に関わるボランティア・団体・施設等が所属するゆるやかなネットワークです。

赤い羽根共同募金にご協力いただきありがとうございました!!

令和2年度 赤い羽根共同募金実績額

赤い羽根共同募金 9,052,762円

歳末たすけあい募金 358,422円

今年度も区民の皆様から多くの募金をお寄せいただきました。この募金は愛知県共同募金会でとりまとめられ、令和3年度に天白区の地域福祉活動の財源として配分されるほか、県下の民間社会福祉施設の充実等に活用されます。今後とも共同募金にご理解、ご協力いただきますようお願いいたします。



天白区共同募金委員会

〒468-0015 原一丁目301 原ターミナルビル3階
天白区社会福祉協議会内
TEL809-5550 FAX809-5551

※赤い羽根共同募金の使いみちなどの情報につきましては、ホームページ(<http://www.akaihane.or.jp>)をご覧ください。



次の方々より天白区社会福祉協議会にご寄付をいただきました。厚くお礼申し上げます。天白区の地域福祉推進に有効に活用させていただきます。(令和2年11月1日から令和3年1月末日受付分 受付順)

●名城大学ボランティア協議会 様
●鈴木 弘子 様

●合計 2件



この指とまれ!

情報コーナー

※新型コロナウイルスの感染拡大状況により中止させていただく可能性もあります。

点訳グループみなづき会主催

「誰でもできる点字教室」(全2回連続講座) 参加者募集!

点字は、目の不自由な方が手で触って読む文字です。

点字に触れてみたい方、学んでみたい方、ぜひご参加ください。

- 日 時: 6月10・17日(木) 10:00~12:00
- 場 所: 天白区在宅サービスセンター 研修室
(原一丁目301 原ターミナルビル3階)
- 内 容: 点字の読み書きなど
- 定 員: 先着20名
- 費 用: 200円(保険料含む)
- 持ち物: 鉛筆またはシャープペン、消しゴム
- 申 込: 6月2日(水) までに、天白区社会福祉協議会へ電話、FAX
(住所・氏名・電話番号・「点字教室希望」と明記)
または窓口で受付



2021年度 ボランティア保険のご案内

国内でのボランティア活動に関わる傷害・賠償事故を補償する保険として、「ボランティア活動保険」と「ボランティア行事用保険」があります。いずれの保険も、社会福祉協議会窓口にて受付を行っています。活動・行事前日までにお申し込みください。

★ボランティア活動保険

国内において、ボランティア活動をする方が加入できる保険で、本人がケガをした場合や、法律上の損害賠償責任を負った場合に補償される年度単位でご加入いただく保険です。

<1名あたりの保険料>

基本プラン	Aプラン	Bプラン	Cプラン
	250円	300円	500円
基本+天災プラン ※地震・噴火・津波によるケガも補償	天災Aプラン	天災Bプラン	天災Cプラン
	400円	500円	800円

★ボランティア行事用保険

国内において、福祉活動やボランティア活動を目的とする団体が加入できる保険で、主催する行事(自治会や町内会主催は対象外)で、行事参加者がケガをした場合や、行事主催者が法律上の損害賠償責任を負った場合に補償される行事単位でご加入いただく保険です。

保険料は、行事の内容や宿泊の有無等によって異なります。

申込・問合先

天白区社会福祉協議会